

はじめに

ペットボトルは、みぢかにある便利な工作材料です。ここではちょっと手をくわえて、生き物の飼育や観察に使えるようにします。

むずかしそう？ そんなことはありません。おうちのひとにてつだってもらいながら、いつでも取

り組めるものばかりです。

さあ、さっそく、はじめましょう。生き物たちはペットボトルのおうちで、とても興味深いですがたを見させてくれますよ。

もくじ

- ◎はじめに——02
- ◎この本の使い方——03
- ◎ペットボトル工作のきほん——04
- ◎むしを飼うときの基本と注意——06
- ◎つかまえるとき——07

変態シーンを観察

- アゲハチョウ.....08
- テントウムシ.....12
- カブトムシ(成虫).....14
- カブトムシ(幼虫).....17

うんち実験

- カタツムリ.....20
- ミミズ.....22

巣ウォッチング

- アリ.....24
- アリジゴク.....28

何を食べる？

- ダンゴムシ.....30

この本の使い方

名前

本書では生き物の名前は、種名ではなく、総称で紹介しています。地域や時期によって採集できるものが異なることがあります。

採集時期

生き物をつかまえられる時期。日本列島は南北に長く、地域によって、採集できる時期が異なるため、はばをもたせています。

作り方

ペットボトルの飼育容器の作り方。ペットボトル工作のきほん(4ページ)をしっかりと確認してから作りましょう。

飼い方

飼うときのポイント。

何を食べる？



ダンゴムシ

ダンゴムシの特技は、丸くなるだけじゃない。自然のなかでは、落ち葉を土にかえす重要な働きをしているのだ。そのため、「自然界の分解者」とよばれることもある。

さがしてみよう！

- 樹木幹やプランター、つもった落ち葉の下などにかくれていることが多い。
- ブロックのへい、コンクリートのまわり、木の根もとにたまった落ち葉や幹のすきまにも集まる。

飼ってみよう！

- しめりけが好き。ぬれた落ち葉があるといい。
- 野菜や金魚・カメのえさ、ドッグフードなどを食べる。基本的に雑食性だ。

作り方

用意するもの

ペットボトル(2リットル) 1本

セロハンテープ

ビニールテープ

1/ それぞれ底から4センチ、2センチくらいの切りやすいところをしるしをつける。カッターで切りこみを入れ、はさみで切る。

2/ 深いほうの切り口にセロハンテープをはり、もうちで固定穴をあける。

飼い方

しめりけを好む

かわきすぎに注意！

● 乾燥や直射日光、カメのえさ、トックフートなど

実験！

何が好き？

◎まわりにいろいろな食べ物を置いてみよう！

観察！

うんちは四角！

◎ダンゴムシはからだを丸めて、だんごみたいになる。ところが出てくるふんは、長四角だ。小さいから、虫めがねでよく見よう！

飼いやすさ

レベルを★の数で表現しています。

- ★☆☆ かんたん！ 初心者にもおすすめ。
- ★★☆ ややむずかしい。
- ★★★ むずかしい。図鑑や本でも調べよう。

実験・観察

観察のポイントや生き物のおもしろい情報を紹介します。

アゲハチョウ

まいしゅうじき はる なつ
採集時期 春・夏

か 飼いやすさ ★★★★★

チョウは卵から幼虫、さなぎへとすがたを変え、最後に皮をぬいで成虫になる。それが「変態」だ。そんなチョウの一生を、自分の目でたしかめよう。

さがしてみよう!

- ミカンやユズ、レモンなどのかんきつ類の葉では、ナミアゲハやクロアゲハの卵や幼虫が見つかる。
- キアゲハは、ミツバやパセリ、ニンジンなどセリ科野菜の葉を食べる。

か 飼ってみよう!

- 卵や幼虫がいた植物の葉がえさ。えだやくきごと切ってあたえる。
- えさをかえるときには、紙ごととりかえて、せいけつにする。

つく 作り方

よう い 用意するもの



1



底から10センチくらい、上から12センチくらいの切りやすいところにしをつける。カッターで切りこみを入れ、はさみで切る。

2



上側の切り口にセロハンテープをはり、下側の切り口の表とうら両方に両面テープをはる。

3



ペーパータオルを半分に切る。半分に折り、さらに三つ折りにする。残りも同じように折る。

4



下側の切り口の両面テープをはがしてペーパータオルをまき、さらにセロハンテープでとめる。

5



ペーパータオルを1/4の大きさに切り、2回、半分に折る。ペットボトルの口にかぶせ、輪ゴムでとめる。



かん さつ 観察!



卵はボールのような丸い形をしている。幼虫がかえる前には黒っぽくなるよ。

幼虫はさいしょのうち、鳥のふんのように見える。そうやって身をまもるんだね。



観察!

さなぎ・羽化を見よう!

わりばしで
さなぎに
なってくれると
いいね!

水っぽいふんを一度にたくさんしたら、そろそろさなぎになるサイン。わりばしを立てて、観察セットを作り、幼虫が動きまわる間は、ビニールぶくろをかぶせておこう。空気穴をわすれずに。羽化は朝早くにはじまることが多いので、見逃さないでね。

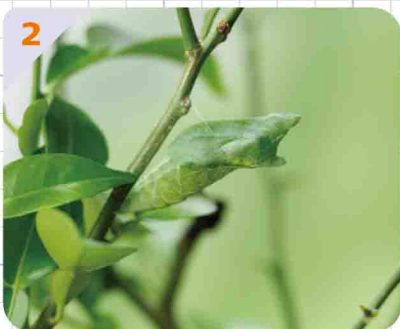
ペットボトルのなどに
それぞれわりばしを立て、
テープでしっかり
とめておく。

これが
水っぽい
ふん。

飼育用
ペットボトルの
下だけを使う。



糸をはいてからだをとめ、じっとして動かなくなる。



脱皮をして、さなぎになる(2週間前後はそのまま)。



黒いはねのもようがうっすらと見えてきたら、羽化がはじまるサイン。



さなぎに、われめができる。



ゆっくりと、さなぎのなかから成虫が出てくる。



はねはしばらくの間、ちぢんだまま。

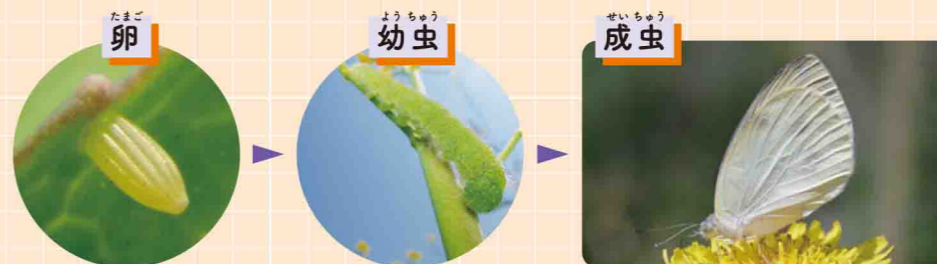


はねをゆっくりとのぼす。ストローみたいなくちも観察しよう。

いろいろなチョウ

モンシロチョウ

採集時期 3~11月 飼いやすさ ★★★★★



卵 約1ミリ。小さな米つぶみたいな形をしている。
幼虫 「青虫」とよばれ、葉を食べて育つ。
成虫 春型と夏型があり、春型は小さい。

飼ってみよう!

- 幼虫のえさはキャベツやコマツナなど。農薬のついていないものをあたえよう。
- ふんは毎日、とりだそう。

ベニシジミ

採集時期 3~11月 飼いやすさ ★★★☆☆



卵 直径は約0.6ミリ。表面はゴルフボールのようだ。
幼虫 わらじ形。みどり色の幼虫と、赤みがかった幼虫がいる。
成虫 はねを開くと、美しいオレンジ色。夏型は黒っぽくなる。

飼ってみよう!

- ギシギシ、スイバなどの葉が幼虫のえさ。
- 小さいので、えさといっしょに幼虫をすてないように気をつけよう。

ツマグロヒョウモン

採集時期 4~10月 飼いやすさ ★★★★★



卵 約0.8ミリ。米つぶを半分にしたような形。
幼虫 赤と黒でよく目立ち、全身にとげがはえているように見える。
成虫 オスとメスでもようが異なる。メスののはねのふちは黒っぽい。

飼ってみよう!

- 幼虫はパンジーやスマレの葉をえさにする。
- ぶら下がり型のさなぎで、表面に銀メッキのようきらきらするものがある。